

# 白神の絆



【発行】林野庁 東北森林管理局  
津軽白神森林生態系保全センター

住所：〒038-2754 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字米町 25-2

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

## 白神山地周辺の 森林（もり）と人との共生活動に関する協議会を開催

6月14日（金）、西目屋村白神山地ビジターセンターにおいて、第14回目となる協議会を委員10名、事務局7名、計17名で開催しました。

議題1として、当センターが実施している植生モニタリング調査および一般公募による自然再生活動について説明しました。委員からは、直接植付けた苗木とカミネッコン（ダンボール製の植木鉢）を使った苗木に生長の違いがあるか調査願いたい旨の要望があり、今後現地にて生長調査を検討することにしました。

議題2は、各団体の自然再生活動について報告がありましたが、内容について自然再生活動に限ることなく、付随する活動（例えば歩道刈り払いなど）についても報告した方がよい旨の意見が出され、来年度からは報告様式を統一して幅広い情報を共有することとしました。

議題3は、民有林および国有林におけるマツクイ虫、ナラ枯れ被害について、青森県と津軽森林管理署から報告され、今後も被害拡大防止のため動向を注視していきます。（小倉）



学識者や各団体との意見交換

## ボランティア活動に際しての 労働害防止の注意喚起を行いました

6月22日（土）、中赤石山国有林内で日本山岳会青森支部が自然再生活動として下刈作業を実施しました。

作業に先立ち、本日は雨の中の作業となることから“滑った・転んだ”などの災害防止のため足元に注意して作業するようお願いするとともに、雨天時作業におけるリスクの洗い出しや危険予知のほか、



注意喚起の様子



ヒューマンエラー、安全関係の説明を行いました。特に登山事故と林業災害の共通点では「滑った、慣れ、基本動作の軽視」が発生要因の多くを占めていることから、災害事例図を使用し安全作業に努めるよう注意喚起しました。(佐々木)

## 白神山地・暗門の滝安全祈願祭及び菅江真澄の道お披露目

白神山地も入山シーズンを迎え、白神山地・暗門周辺における安全を祈願するため、6月24日(月)にアクアグリーンビレッジANMON敷地内に鎮座する暗門神社において、安全祈願祭が執り行われました。祈願祭には、西目屋村村長をはじめ、白神山地に携わる役場職員、津軽森林管理署、環境省、青森県、ガイド団体といった関係者が参列し参列者一同、神妙な面持ちで今シーズンの無事故を祈願したところです。



祈願祭に続々と集まる参列者



神事に臨む参列者一同

神事を滞りなく終えた後は、西目屋村で予めより整備を進めていた「菅江真澄の道」のお披露目と相成りました。江戸時代の紀行家・菅江真澄が辿ったとされる古道の道中には、鉱山の試掘跡や炭焼き窯の跡などがあり、地域文化を学べるコースとなっています。



高倉森自然観察歩道入り口



コース沿いはブナ中心の森林が広がる

菅江真澄の道へは、高倉森自然観察歩道を経由し向かうこととなりますが、ちょっとした登山となります。履物はトレッキングシューズなどで臨まれると、より安全に散策を楽しむことが出来ると思いますので、白神の自然や地域文化に興味がある方は、お越しいただき本コースを散策していただければと思います。(三浦)



## 日本ユネスコ協会連盟 育樹活動

### 「守ろう地球のたからもの」プロジェクト

#### ・世界遺産「白神山地」周辺地域における育樹活動に参加しました

7月6日（土）津軽森林管理署管内の遊々の森（弘前市相馬字湯口山国有林内）において、日本ユネスコ協会主催の育樹活動に参加し、当センター職員は下刈などの技術指導を行いました。

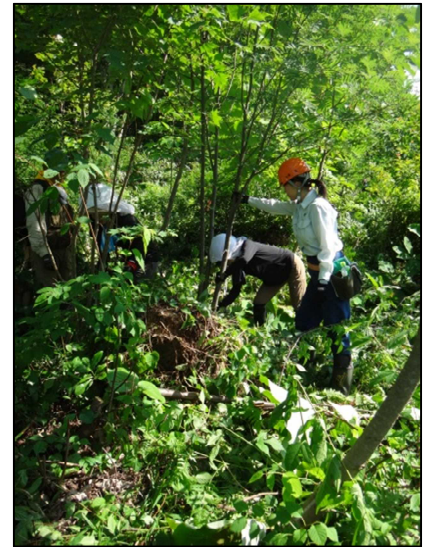
当日は東京と大阪より三菱 UFJ フィナンシャル・グループのボランティアの皆さん、五所川原農林高校生ほかスタッフを含め、約90名が参加しました。

作業前には津軽人文・自然科学研究会原田理事長より作業内容の説明、唐沢津軽森林管理署長の挨拶、自然の恵みへの感謝と作業の安全を願って神事が執り行われました。

各地から参加された皆さんは、鎌での下刈り、ノコギリをでの枝払い作業を行い、手入れされた林内を見て「これで大きく木が育つね」と感想を語っていました。皆さん慣れない作業にもかかわらず、無事ケガもなく終了しました。ちなみに「汗をかいたので夜のビールが…」との声も聞こえたような？



神主さんも実は山 ver. 長靴を履いています！



技術指導する津軽署職員



下刈作業の様子



わさお登場！

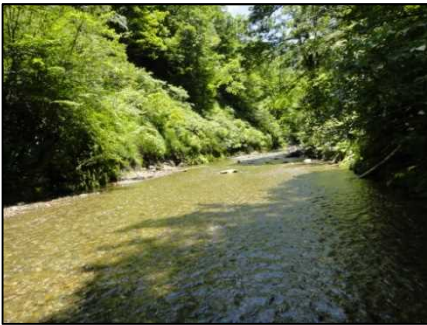
2008年度から続いた育樹作業が今回で最後になるということで、日本ユネスコ協会連盟と三菱 UFJ フィナンシャル・グループから連盟で、植樹・育樹活動への協力団体に感謝状が贈られ、閉会式には、「日本ユネスコ協会連盟 世界遺産活動特別大使”犬”（ワンバサダー）」の”わさお”が登場し記念撮影を行いました。また、どこかの国有林でプロジェクト活動を行ってくださることを願っております。（佐々木）



## 【不定期掲載：巡視活動の合間に・西目屋エリア】

津軽白神山林生態系保全センターでは、白神山地における自然再生活動や中・大型哺乳類調査等の業務を行っていますが、それと併せて白神山地での巡視活動も実施しています。巡視活動では、違法行為等が行われていないかの確認や、入山者にマナー向上に対する協力の呼びかけをしているところです。年間を通じて巡視活動を行っており、白神山地のエリアでは入山シーズンである6月から11月末まで行っています。巡視の合間に何となくシャッターを切る機会が多々あるわけですが、写真データを整理していると意外に四季を通じての写真が撮れていたりするところです。

写真データのほとんどは、陽の目を見ることなくお蔵入りとなってしまっていますが、それだと勿体ないと考えますので少しではありますが、お披露目したいと思います。まずは、大川から。



初夏の大川（その1）

お次は、暗門溪谷付近。



初夏の大川（その2）



ニホンカナヘビ



横倉沢



第1の滝付近のゴヨウマツ群落



奥に見えるのが第1の滝



ミヤマカワトンボ



マイマイカブリ



第2の滝

今回は、水辺の写真を中心にご紹介させていただきました。（筆者は登山が苦手）  
今後も各種事業や巡視活動の際に撮影した季節ごとの風景など、本誌を読んだくださる皆様へお届けしたいと考えていますので、ご期待ください。

（クオリティー低いですが）（三浦）